

令和8年度 運動クラブ（月・金） 年間カリキュラム

【ねらい】
 ① 運動を通して様々な身体の使い方を体験する。
 ② 体力をつけ、体幹を鍛える。
 ③ 運動を通して集団意識（協調性・リーダー性・コミュニケーション能力）を高める。
 ④ 上手くいかないことがあっても諦めずに、挑戦する姿勢を作る。
 ⑤ 運動遊びを通して、身体を動かすことを楽しむ。

【支援方針】
 （月曜日・金曜日）
 ① 段階を踏んで基礎から練習を行い、試合などの実践に移る。
 ② ルール理解ができるように、繰り返しの経験、個別のサポートを行う。
 ③ 集団意識を持てるように、話し合いの場を設けながら、自己発信や人の意見を聞く経験を積む。

月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月	ドッジビー	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を通してルールの理解や他児との関わりを持って楽しく参加する。 ●目と手の協応動作の向上 ●苦手意識の克服 ●基礎体力作り 		<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の名前を覚えていない児童がいる。 ①名札を作る。 ②アイスブレイキングをする。 ●投げ方に偏りがある⇒投げ方を児に合わせて教える。 ●新児童の戸惑い⇒新しい環境・木曜のプログラムに在籍していた児童はギャップがあるため、各児の様子を丁寧にアセスメントしフォローする。
5月	ドッジボール	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を通してルールの理解や他児との関わりを持って楽しく参加する。 ●ボールの取り方や投げ方の向上。 ●集団スポーツとしての意識をもつ。 ●周りの児童に対する思いやりの心を育む。 		
6月	Tボール (練習期)	<ul style="list-style-type: none"> ●手具の使い方を覚える。 ●新しい競技のルールを覚え楽しく参加する。 ●自己発信力（意見を言うなど）。 ●チームリーダーとしての意識づけ(6年生中心)。 		<ul style="list-style-type: none"> ●自己発信が難しい児童 ⇒どうやったら自己発信しやすいか模索し、段階を踏むようにする。 ●初めての競技に理解が難しい児童 ⇒お手本を見せたり視覚的支援ツールを活用する。
7月	Tボール (試合期)	<ul style="list-style-type: none"> ●ルールを理解して試合に挑む。 ●勝負への意識をもつ。 ●空間認知能力の向上。 ●試合の緊張感を味わう。 ●洞察力の向上。 ●活動を通して振り返りをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ●試合に負けて気持ちを切り替えることが難しい児童 ⇒負の感情との向き合い方や乗り越え方を伝える。 ●なかなか打てない離席する児童 ⇒自由時間などに個別で練習を行う機会を設ける。
8月	・ボッチャ ・フロアカーリング (夏休み期間)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい競技への興味・関心を持つ。 ●他児との関わりを意識して活動に参加する。 	<p>【健康・生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体の基本を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 <p>【運動・感覚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 <p>【認知・行動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成(数、大小、色など)。 ・場に適した行動ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●★熱中症対策 ⇒こまめに水分補給、休憩を取る。 ⇒塩分チャージや凍らせたタオルを持っていく。 ●自己発信が難しい児童 ⇒視覚的支援ツールを準備し個別で対応をとる。 ●初めての競技に理解が難しい児童 ⇒お手本を見せたり視覚的支援ツールを活用する。
9月	バドミントン (練習期)	<ul style="list-style-type: none"> ●手具などを使った競技に興味をもつ。 ●手具の使い方や競技のルールなどを理解する力を培う。 ●空間認知能力の向上。 ●個人目標を立て、その為に必要なことを考える。 ●その場に合った力加減ができるようになる。 ●試合形式などを行い、勝負へのこだわりや達成感を味わう。 	<p>【言語・コミュニケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓(指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等)。 ・読み書き能力の向上。 <p>【人間関係・社会性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント(愛着行動)の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ●初めての行う競技のルール理解が難しい。 ⇒活動の初回などに動画を活用したりプレゼンテーションにて説明を行う。 ⇒子ども達が理解できそうなルールを取り入れ、ステップを踏んでルール理解に繋げる。 ●様々な手具の使い方(使い方が分からない児) ⇒活動の初回などに動画を活用したりプレゼンテーションにて説明を行う。 ●目標の立て方などがわからない ⇒選択形式で出来るように、あらかじめ準備しておく。
10月	バドミントン (試合期)	<ul style="list-style-type: none"> ●練習の成果を発揮する。 ●思い通りにならない時に気持ちを切り替える。 ●ペア活動等のチーム意識を高める。 		<ul style="list-style-type: none"> ●ルールの理解が難しい児童 ⇒都度、視覚支援などを活用し説明したり、見本を見せる。 ●道具の使い方が不明な児童 ⇒事前に使い方などを説明する。
11月	キックベース	<ul style="list-style-type: none"> ●ルールを理解する力。 ●目標に向かってみんなで取り組む姿勢。 ●苦手を競技にもチャレンジする力。 ●蹴り方の習得。 		<ul style="list-style-type: none"> ●他児と意見の食い違いなどで衝突をする ⇒どうやって話し合いをするか・どう対応するかなどを伝える、又は考える場を設ける。 ●参加具合のギャップ(※得意・不得意で活動への参加が変わる) ⇒学年または昨年の運動クラブで経験した児童とそうでない児童を分ける、など配慮する。
12月		<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションスキルの向上。 ●蹴る(足でのコントロール)力を培う。 ●一連の動きの確認⇒(蹴る・走る・止まる・パス・シュート)。 ●気持ちの切り替え方を学ぶ。 ★勝った場合…相手に対してどういう態度をとるか・声をかけるか、など。 ★負けた場合…他児を責めず、自身の気持ちの切り替えをどうするかを学ぶ。 ○体力・持久力アップ。 		
1月	・サッカー ・マラソン			<ul style="list-style-type: none"> ●足の使い方 ⇒蹴る位置などにマークをつけ、蹴る位置を意識して出来るようにする。 ●リーダーとしての進め方(6年生) ⇒進め方などの視覚支援を準備する。
2月				
3月	お楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返る力を培う。 ●コミュニケーション能力の向上。 ●最高学年への意識を持つ(5年生)。 		